

「れんけいレポート」

～地域連携室報告～

発行：河内長野市医師会地域連携室

平成29(2017)年3月・第17号

☆現在河内長野市ブルーカードシステム(休日夜間病状急変時対応システム)が稼働中。かかりつけの患者さんに、「ブルーカード」を発行するには、「登録医」の申込みが必要。随時「登録医」の登録申込みを受付中。詳細は地域連携室迄ご連絡を！

☆多職種連携推進のための「河内長野市れんけいエチケット集」を刊行(1冊配布済)。追加希望の場合は、地域連携室迄ご連絡を！なお、医師会ホームページ(地域連携室⇒エチケット集)から、PDF版のダウンロードも可能となっている。

◎医療・介護連携勉強会：2月1日(水)第10回開催(於・大阪南医療センター)。参加82名

「フレイル」シリーズの最終回で、「栄養障害とフレイル」をテーマに、大阪南医療センターの前田恒宏先生(外科医長兼栄養サポート室長)はじめ3人の講師の方から講演。「フレイル」の状態を早期発見・早期対応することの重要性が強調された。

□「大阪府医師会医学会総会」一般演題パネル展示：11月13日(日)開催(於・大阪府医師会館)

神戸理事から、河内長野市における在宅医療・介護連携推進事業の進捗状況、特に当室の活動内容、事業推進にあたっての体制整備内容等を中心に講演。「地域ケア会議」下に、地域課題に応じた3委員会を設置し、協議体の一元化を図った旨強調された。

□大阪府「在宅医療・介護連携推進事業研修会」：2月16日(木)開催(於・大阪赤十字会館)

福島俊也医療監(大阪府)からの挨拶の後、地域包括ケアシステム構築に向けた全国の取組みの先進事例(千葉県松戸市・熊本市)が紹介され、多職種連携の重要性が強調された。

□「大阪府訪問看護ステーションシンポジウム」：2月18日(金)開催(於・大阪府医師会館)

大阪府医師会と大阪府訪問看護ステーション協会の主催で、地域包括ケアに向けた訪問看護の新たな機能展開等についての講演や討論が行われた。冒頭、中尾正俊副会長(大阪府医師会)から、次年度の在宅医療推進事業の内容説明等があり、地域における病院との連携強化の必要性(地域医療連携コーディネータ事業)が強調された。

◇河内長野市訪問看護ステーション連絡会：2月16日(木)開催(於・河内長野市医師会館)

地域の訪問看護ステーションを巡る諸情勢について情報共有、意見交換等があり、上記「河内長野市れんけいエチケット集」が、全ステーションに職員分が配布された。

◇河内長野市地域ケア会議いきいきフェスタ検討委員会：2月24日(金)開催(於・河内長野市医師会地域連携室)

第6回目で、次年度「いきいきフェスタ」の検証等を行った。開催は9月10日(日)の予定。

◇河内長野市との懇談：2月24日(金)に保健福祉部の担当者と喫緊課題について協議。

☆河内長野市医師会地域連携室 <TEL：54-1700 FAX：54-1567>

<メールアドレス：chiikirenkei4@kawachinagano-ishikai.com>